



# 丸小だより

～ 実践目標 自分が輝く、みんなも輝く ～

横浜市立丸山台小学校 学校だより

6月号

令和4年5月31日(火)

## 社会科見学「コロナ禍」へ

副校長 足立 憲昭

清々しい初夏を迎え、校庭の「くすのき」の緑も日増しに深くなってまいりました。

先日5月19日(木)に、4年生の社会科見学の引率で資源循環局鶴見工場へと行ってきました。

4年生の子どもたちにとって、久しぶりの社会科見学ということになります。私自身も社会科見学の引率は約3年ぶりとなります。当日朝は、子どもたちが中心となり出発式の運営を行いました。出発式では、みんなで校外学習に行ける喜びが子どもたちの笑みからも伝わってきます。資源循環局鶴見工場では、職員の方からごみ処理について説明を聞き、実際に巨大なアームがごみをつかんで焼却炉に投入する瞬間をどきどきしながらガラス越しに見ては、「ゲームセンターのクレーンゲームみたい!」「本当だ!」と大喜びでした。ある子どもは、職員の方から聞いた話をしおりに一生懸命メモをしています。それこそ、しおりのメモ欄をはみ出してそのページが真っ黒になるくらい書き込みをしています。「すごいね。よく聞いてメモしているね。」と話しかけると「うん。」とこちらも満面の笑みです。学んだことを学校に持ち帰り、みんなで共有し、さらに学びを深めていこうとする意欲が伝わってきました。次の日の朝に、校門で4年生の子どもに、「昨日は楽しかったね。」と話しかけてみました。「うん、最高だった。」と笑顔。さらに「何が一番楽しかったかな。」と問いかけてみました。元気よく「お昼の時間!」と応えてくれました。コロナ禍でしばらく社会科見学に行けなかった子どもたちは、黙食とはいえ、天気の良い日に芝生の上で食べたお弁当の時間がとても楽しかったようです。

続けてさらに、5月24日(火)は、6年生の横浜地方裁判所・ニュースパーク見学の引率にも行きました。6年生も久しぶりの校外での学習となりました。横浜地方裁判所では、法廷にて裁判官に普段の仕事の様子や裁判官を目指した動機を質問し、答えていただきました。裁判官の仕事に対する想いや経歴を伺うことができ、こちらも子どもたちにとって有意義な時間となりました。その後のニュースパークでは、職員の方に新聞の歴史や記事の作成、取材の仕方など、丁寧な説明をしていただきました。また電車の中でのマナーや移動の仕方など、最高学年らしい立派な姿で、さすが丸山台小学校の子どもたちだと感心しました。

社会科見学は、子どもたちにとって普段入ることができない施設に入ることだけでも新鮮であり、その分学びが深くなります。さらに実際の現場を見学させていただくことやそこで働いている方の話を聞くことで、子どもたちは短時間で多くの知識を得ることが出来ます。リモートや動画のよさももちろんありますが、実際に外に出てその場に行き、自分の目で見て学び、人と会って話を聞く学習のよさを改めて実感しました。感染症の状況は依然として予断は許さないものの、今後「コロナ禍」から「コロナ過」へとゆるやかに移行していくと考えられます。子どもの学びを充実させるために、社会科見学も安全面を第一優先とし、ゆるやかに、そしてできることを少しずつ増やしていくことができればと思っています。